

## 報告



## こども向けクリスマスイベント



## ● HELLO WORLD～外国語のおはなし会～

12月2日(日)に、国際交流員のみなさんと一緒に外国語のおはなし会をしました。このおはなし会は毎月第1日曜日に乳幼児の部、小学生の部にわけて行っています。定員は各30人ずつですが毎回満員になる人気のおはなし会です。今回はクリスマスをテーマにしており、サンタクロースから少し早いクリスマスプレゼントが手渡されました。

## ● ちいさいひとたちのための絵本とおはなしにであう会

12月5日(水)に、0～3歳くらいまでの赤ちゃんとその保護者向けのおはなし会をしました。手遊びや読み聞かせ、パネルシアター、ハンドベル演奏がありました。最後にはプレゼントを持ったサンタクロースが登場。びっくりして泣いてしまったこどもたちもいましたが、とても楽しんでもらえました。



## ● ぴった～あかちゃんのおはなし会～ &amp; おはなしのじかん

12月22日(土)にクリスマスをテーマにしたおはなし会をしました。クリスマスや冬に関係する絵本の読み聞かせをして、「もうすぐクリスマス!」というこどもたちのわくわくした気分を盛り上げました。



## ● クリスマスこどもアニメ映画会

12月22日(土)に、『トムとジェリー「星空の音楽会」』と『スノーマンとスノードッグ』を上映しました。こどもはもちろん、大人も一緒に楽しめるプログラムでした。

勝手に

## 絵本作家 100人!

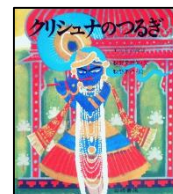
(第3回目)

## 秋野 不矩(あきの ふく) 1908-2001

7月25日静岡県生まれ。教員生活ののち画家を志す。従来の考えにとらわれない新たな日本画をめざし、「創造美術」という美術団体を結成する。54歳の時、大学の客員教授としてインドに赴任、以降も数度インドを訪問。帰国後は、京都市立美術大学(現:京都市立芸術大学)で美術を教える。1960年代半ばより、絵本の仕事も手掛ける。1952年に、若手女流日本画家を対象とした上村松園賞を、1999年には、文化勲章を受章している。2001年逝去。

## == 主な作品 ==

- 『いっすんぼうし』(石井桃子/文 福音館書店 1965)
- 『かぐやひめ』(円地文子/文 岩崎書店 1967)
- 『きんいろのしか』(石井桃子/再話 福音館書店 1968)
- 『クリシュナのつるぎ』(秋野癸巨矢/文 岩崎書店 1969)
- 『うらしまたろう』(時田史郎/再話 福音館書店 1974)
- 『ちいさなたいこ』(松岡享子/作 福音館書店 1974)



## 新 刊 案 内

### 『 マレスケの虹 』 森川成美／作 913.6/月刊 小峰書店

日系二世である少年マレスケはハワイ生まれハワイ育ち。貧しいながらも、祖父の営む商店で兄姉とともに平和に暮らしていた。しかし、真珠湾攻撃以降、彼らの環境は一変する。アメリカ国籍にもかかわらず、日系という理由だけで、クラスメイトから敵意を向けられるように。ハワイ全土に戒厳令が敷かれ、日本人の資産凍結や短波ラジオやカメラの没収など、制限される。さらには、FBI が祖父を連行してしまい…。第二次世界大戦中のハワイで生きる少年と、その家族の物語。

『 その年、わたしは嘘をおぼえた 』 ローレン・ウォーク／作 中井はるの 中井川玲子／訳 933/ウォーク さ・え・ら書房  
アナベルの学校に、「矯正不可能」と噂の少女、ベティが転校してきた。暴力的なベティはアナベルを恐喝し、彼女の穏やかな日々は一変する。ある日、アナベルの親友が、何者かの投石により、失明するという事件が起こる。調査が続く中、今度はベティが失踪する。二つの事件の疑いは、地域に住み着く帰還兵で浮浪者のトビーに向けられることに。住民たちの偏見に一人で立ち向かい、彼への疑いを晴らそうと奮闘するアナベルの姿が、彼女の回想によって淡々と語られている。

### 『 『ニルスのふしぎな旅』と日本人 スウェーデンの地理読本は何を伝えてきたのか 』

村山朝子／著 C949.83/月刊 新評論

魔法をかけられて小さくなったニルス少年が、ガチョウのモルテンやガンの群れと一緒にスウェーデンを旅する『ニルスのふしぎな旅』。元々は、スウェーデンの子どもたちを対象にした地理読本だったが、世界中で読まれるようになった。日本でも繰り返し翻訳され、絵本やアニメなど様々な形で親しまれてきた。本書では、日本における『ニルスのふしぎな旅』の軌跡をたどりつつ、たくさんの人を魅了し、読み継がれてきた理由を図版なども交えて解説する。参考文献も豊富に紹介。

## ▼△▼△▼△▼△▼ 1 月 の 行 事 ▼△▼△▼△▼

<p style="text-align: center;">ぴった～あかちゃんのおはなしかい～ (毎週土曜日) 1月5日、12日、19日、26日 10:00～10:20 2階こどもコーナー おはなしのへや</p>	<p style="text-align: center;">おはなしのじかん (毎週土曜日) 1月5日、12日、19日、26日 10:30～11:00 2階こどもコーナー おはなしのへや</p>
<p style="text-align: center;">ストーリーテリング勉強会(毎月第2水曜日) 1月9日 9:30～11:30 4階 集会室</p>	<p style="text-align: center;">子どもの本の読書会(毎月第2木曜日) 1月10日 10:00～11:30 1月の課題図書:『ギヴァー記憶を注ぐ者』 『ギャザリング・ブルー青を蒐める者』 (ロイス・ローリー／著、島津やよい／訳、新評論) 4階 集会室</p>
<p style="text-align: center;">ちいさいひとたちのための絵本とおはなしにであう会 1月9日 10:30～11:00(毎月第1水曜日) 2階こどもコーナー おはなしのへや (今月は第1水曜日が休館日のため1月9日に実施)</p>	
<p>リレーおはなし会 【主催:オーテピア高知図書館開館記念事業 リレーおはなし会実行委員会】 (毎月第2、第4日曜日) 1月13日、27日 11:00～11:50 2階こどもコーナー おはなしのへや</p>	

上記の行事は、いずれもオーテピアで行います。【申込み・参加費は不要】



伝言板では、子どもと読書に関する催し物などを掲載します。次号のSariSari通信に掲載するときは、

オーテピア高知図書館児童担当まで前月15日までにお知らせください。

TEL 088-823-4946(代表) 088-802-6023(こどもコーナー) FAX 088-823-9352